



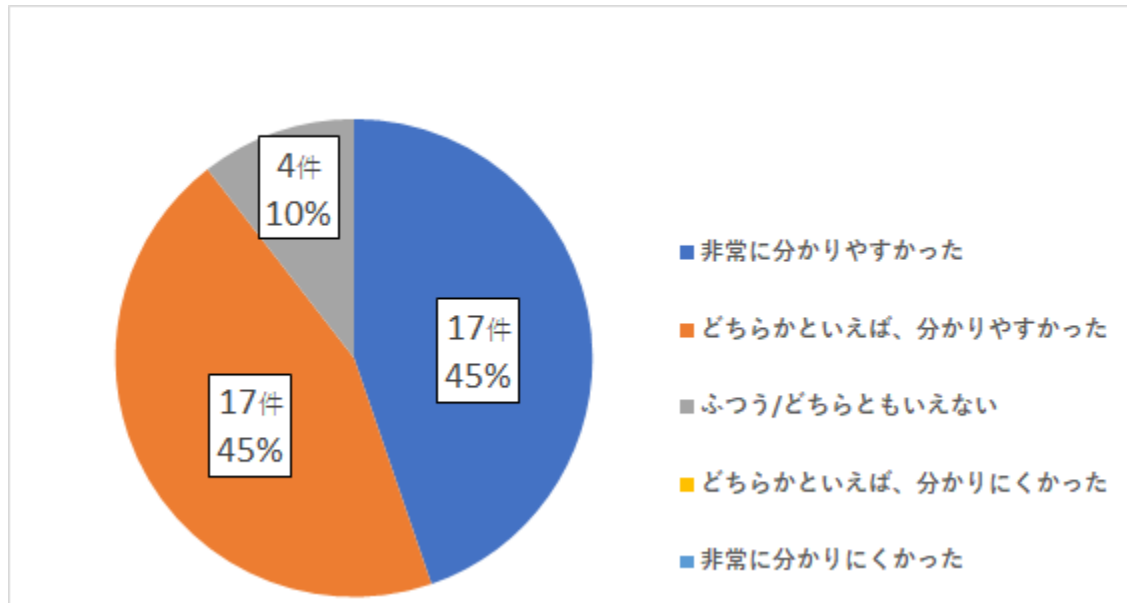
# 気候市民会議つくば2023

## 第6回会議後アンケート

(n = 38)

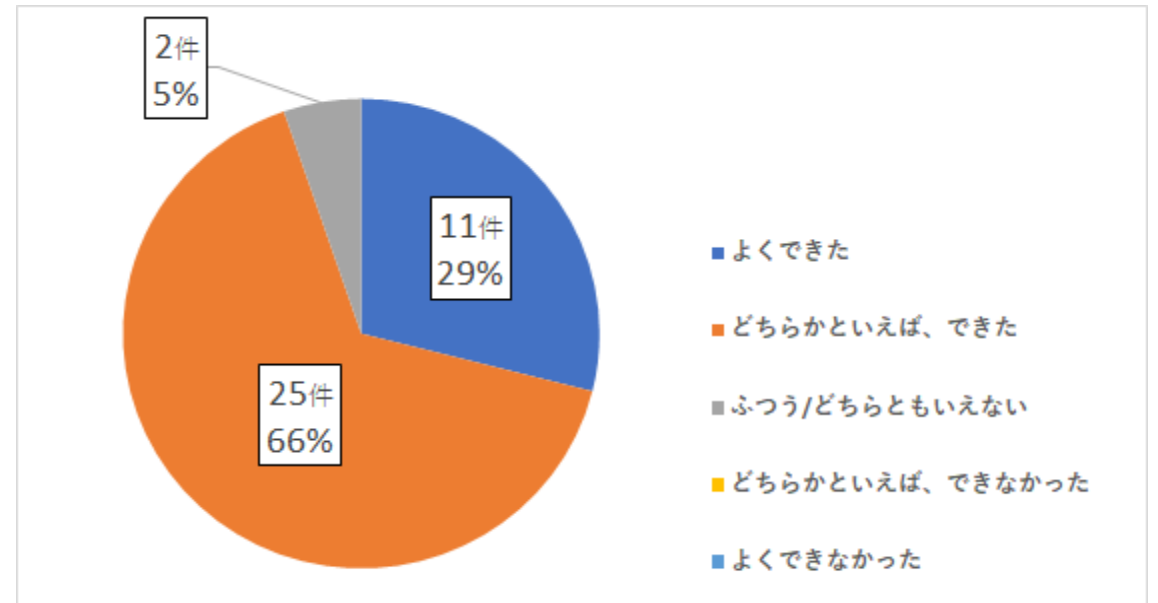
## 質問1

全体として気候市民会議の内容は、分かりやすかったですか。



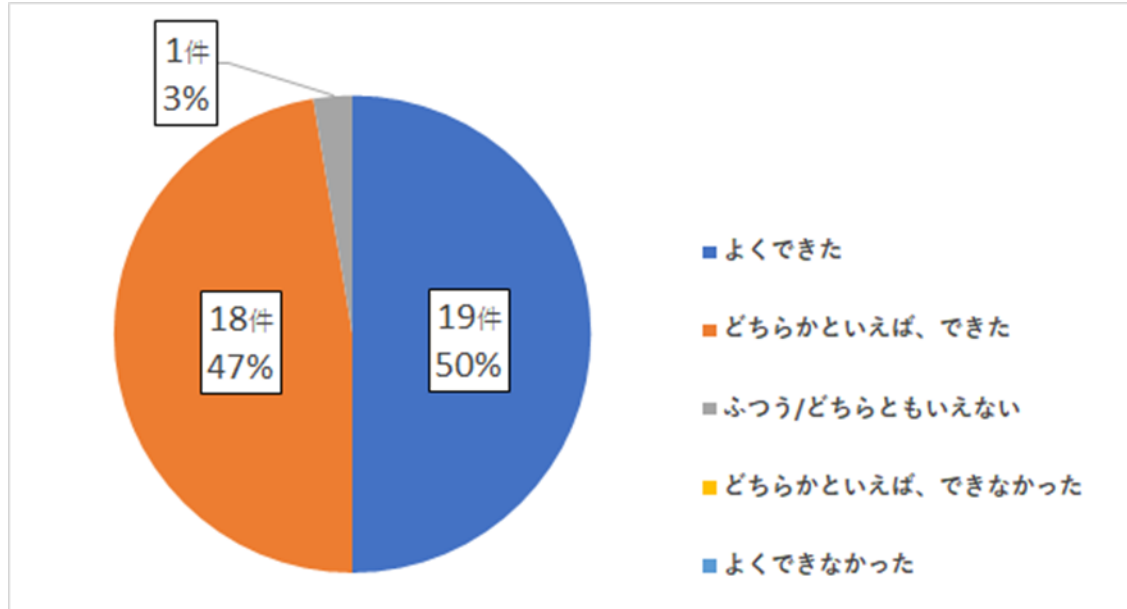
## 質問2

提言は、あなたの思いや考え、意見が反映されたものにできましたか。



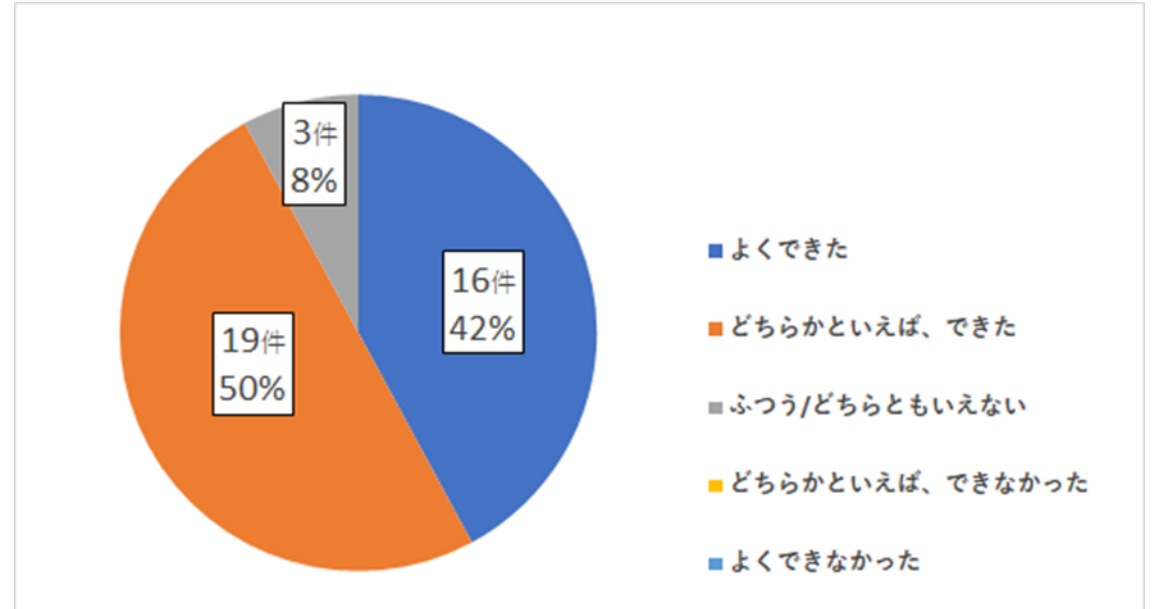
### 質問3

提言は、参加者みなさんの思いや考え、意見が反映されたものにできましたか。



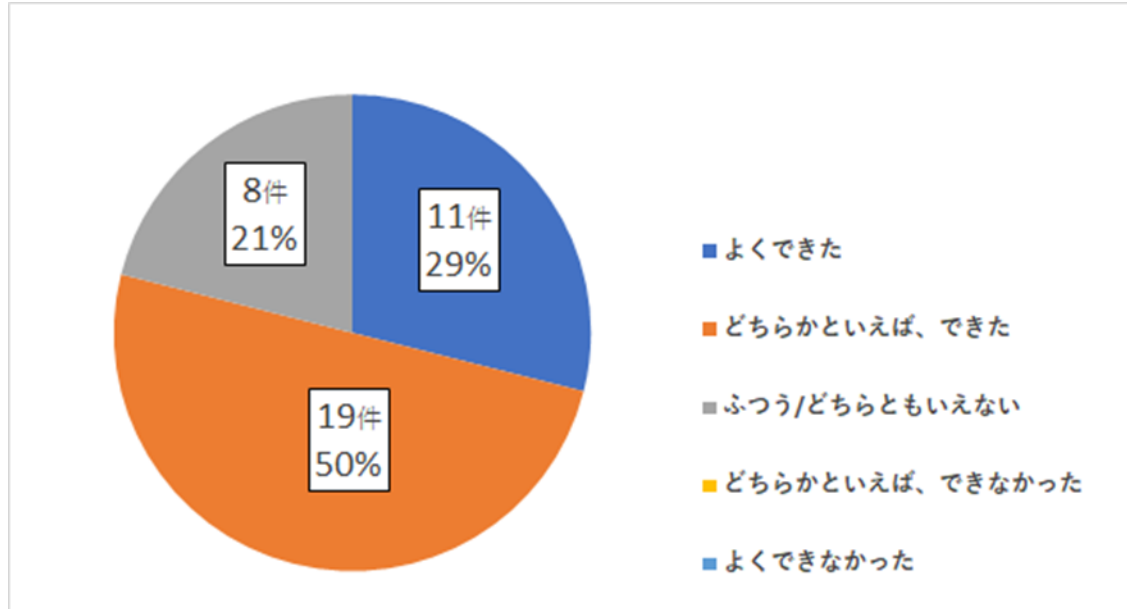
### 質問4

提言は、〈ゼロカーボン〉と〈住みよいつくば〉が両立するものにできましたか。



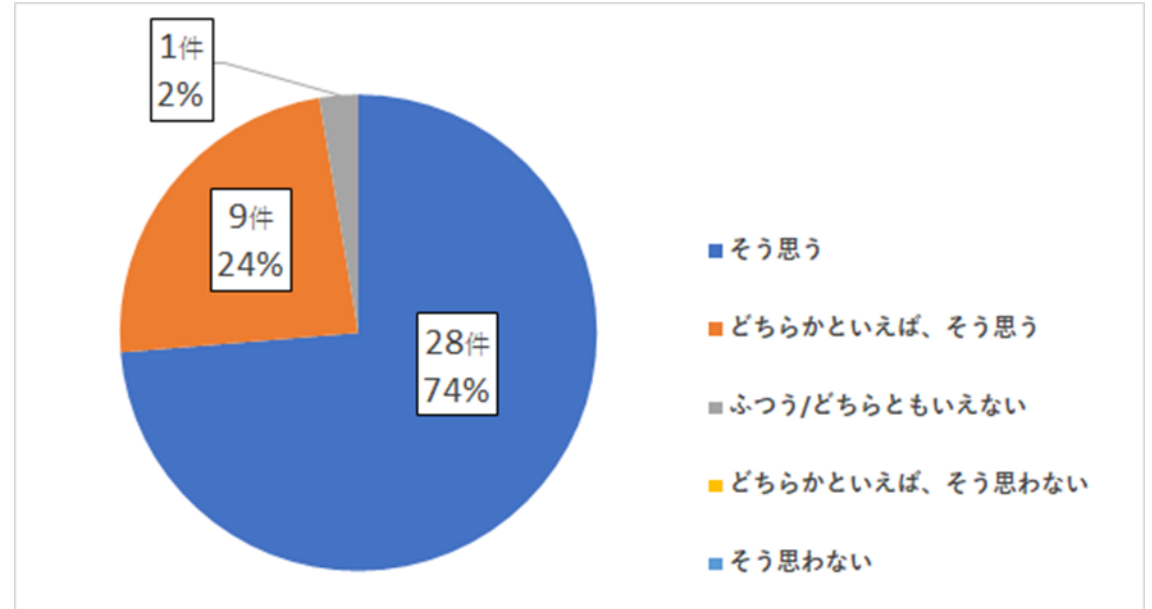
## 質問5

提言は、この場にいない市民にも納得・共感してもらえるものにできましたか。



## 質問6

提言した内容が実現してほしい、実現したいと思いますか。



## (参考) 気候市民会議に参加して印象に残った点、感想などをご自由にご記入ください(任意)。

印象に残った点、感想など
スタッフの準備等大変な仕事だったと思います。本当にありがとうございました。
今回メンバーに選ばれたことで、気候変動等について学ぶ機会が増えて自分にとって大変にプラスになりました。最後に、気候変動会議つくばに立ち上げから関わった皆様に御礼申し上げます。
貴重な機会を頂きありがとうございました。環境問題を考える機会をいただきました。また、いろいろな方々とお話しできて楽しかったです。
みんなの色々な意見、言い方、とても学べた。環境問題について軽く思っていたから、もっと広げられたら良かったと思う。6日間ありがとうございました！
暖冬、夏の亜熱帯化等、地球の沸騰化の危機に対して早急な対策が必要です。つくば市民が率先して、地球、地球人の危機を救いましょう。
政策は上から与えられるものではなく、市民から作り出すこともできるのだと思いました。
皆さんが積極的に発言できる雰囲気での会議になり、とても有意義なものになったと思います。
ゼロカーボンに対する知識も意識も全くない状態での参加でしたが、毎回大変勉強になり、自分自身の意識や考えが変わるきっかけとなりました。様々な年代との方の意見交換も大変有意義でした。このような機会に参加させていただき、ありがとうございました。この提言書が実現し、つくば市が日本初のゼロカーボンシティになるのを楽しみにしています。
いろんな年代の方と話せたこと、市に実際に提言できたことなど、貴重な経験ができた。
ゼロカーボンに対する意識がとても上がりました。また、参加者の皆さんと楽しく過ごせてとても有意義な経験となりました。ありがとうございます。
今回のテーマを達成するには何が必要かという様な個人の意見を書く場面があったが、それを書いた後の市長のお話と略同意見だったので、自分の考えは間違っていないということを認識した。
ゲーム感覚で楽しめたところもありますが、一方では、責任も感じました。貴重な経験でした。
あっという間の6回でした。色々な方とお話出来たり、それに勉強になりました。皆様ありがとうございました！
まずは、知る事が大事だと思いました。今回、参加出来たことは貴重な体験だったと思います。ありがとうございました。
毎回テーマに沿った講義をとおしてたくさん学びがありました。全体のスケジュールのなかの講義時間が短くて、講師の方が急いでいたり、自分の理解がおいつかない部分もあったので、年末にゆっくり資料を読んで復習したいと思います。施策の選定のためのグループ内の話し合いでは、相手の意見を否定しないことと、異なる自分の意見をいうことのバランスが難しかったですが、多くの意見がきけてとても有意義でした。予想よりずっと本格的な会議で、毎回準備や調整等たいへんだったと思います。ありがとうございました。
説明される勉強会は、とても充実していた。ただ内容に偏りや恣意性があると感じるのが残念だった。また、第6回では、文言を変えて良かったり、意見をミックスして良かったりがわからず、意見が反映されないことが多々あったように思えたのが残念だった。班の手伝い者によって傾向や考えが違うのではなく、方向性は統一して欲しいと思った。
情報提供の時間が少なかったことが悔やまれます。もう少し回数を増やしても知識のインプット時間が多いほうが、アウトプットの深みが違ったかなと思います。しかしながら、参加できてよかったです。ありがとうございました。
市民会議を経験できたのは貴重なよい経験でした。会議の進め方について最初の会議で意見を聴取して進めれば、もっと良かったと思います。
最終投票において、提言内容に対する疑問点をコメントしたかった。各グループが提出した提言内容がわからないまま最終投票の提言案ができ、その採否を判断したものがあつた。各グループの提案内容について、参加者同士で(ファシリテーターや事務局のサポートを受けながら)議論してから最終投票にかける提言内容を詰められたら、より良い提言になったのではないかな。また、ある回で専門家が言っていた残す緑地のバランスについて、議論する時間がなかった。そのようなことも議論してから提言をまとめられるとよかつたのではないかな。多くの予算が必要そうな提言が多く感じており、心配している。負の遺産とならないよう、取捨選択しながらうまく実行していただくことを願う。